

さいたま市美園地区にて、まちの発展・成熟に即した交通サービスとしての有用性等検証

AI オンデマンド交通サービス実証事業を2021年1～2月に実施

国土交通省「スマートシティモデル事業」に係る実証調査

さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム（埼玉県さいたま市、会長：一般社団法人美園タウンマネジメント）では、国土交通省「スマートシティモデル事業」に係る実証調査の一環として、都市開発の進むさいたま市美園地区においてAI オンデマンド交通サービス実証事業「みそのREDバス」を2021年1月から2月にかけて実施し、まちの発展・成熟に即した柔軟なサービス展開の可能性・有用性等の検証を行います。

さいたま市の“副都心”の1つ「美園地区」では、埼玉高速鉄道線「浦和美園駅」を中心に埼玉スタジアム2002公園も囲みながら、土地区画整理事業を核とした大規模な新市街地づくりが進行中です。開発区域内では、子育て世代を中心とした居住人口増や立地施設数増に伴って交通量も年々増えている一方、周辺の既成市街地・市街化調整区域では人口増加幅は落ち着き、現役世代の減少、高齢化の進行が今後見込まれます。このため、まちの発展・成熟に伴う滞在人口（夜間人口・昼間人口・交流人口）、人口構成、土地利用等の変化や、新型コロナ危機を契機に一層の多様化が見込まれるライフスタイルや地域ニーズ等に柔軟に対応しながら、過度な自家用車依存から脱却し、低環境負荷で、誰もが移動しやすい域内交通体系を構築していくことが重要なまちづくり課題となっています。

こうした課題を受け、市内のスマートシティ施策の推進を目指す「さいたま市スマートシティ推進コンソーシアムⁱ」では、国土交通省「スマートシティモデル事業」に係る実証調査の一環として、「スマートシティさいたまモデル」の構築など本地区のまちづくりに取り組む美園タウンマネジメント協会ⁱⁱ・みその都市デザイン協議会ⁱⁱⁱの参画各社等と連携しながら美園プロジェクトチーム^{iv}（以下、美園PT）を組織し、戦略・施策検討を進めてまいりましたが、この度、AIシステムを用いたオンデマンド交通サービス実証事業「みそのREDバス」を2021年1月18日から2月14日にかけて実施いたします。

駅や商業施設等の都市機能が点在し、都市開発に伴うまちの変化も著しい本地区においては、運行範囲・乗降場所・運行車種等の柔軟なサービス設計が可能なオンデマンド交通サービスが有用との仮説のもと、本実証事業では、スマートフォンアプリ（Webアプリ）を介した利用者の乗降予約に応じて、AIシステムが最適な運行ルート設定や配車をリアルタイムで行う相乗り輸送サービスを提供いたします。特に地域住民の通勤・通学、買物、通院等の日常的な域内移動をメインターゲットに据え、将来的なサービス実装に向け、相乗り輸送やアプリ活用等に係る地域受容性の確認やサービス改善に向けた利用履歴分析、地区内施設・店舗との連携課題把握等の検証を進めます。

また、美園PTでは現在、モビリティシェアリング等の地区内先行取組も踏まえつつ、交通空間・交通モード・モード間接続・データ利活用の4つの観点を軸にエリア交通戦略『（仮称）美園スマートモビリティデザイン』の検討も並行して進めており、本実証成果も反映させながら2021年3月の戦略とりまとめを目指しております。

AI オンデマンド交通サービス実証実験「みそのREDバス」実施概要

■実証サービス概要（予定）

実証期間	2021年1月18日(月)～2月14日(日)	運行時間	8:00～18:00
運行範囲	浦和美園駅周辺（みそのウイングシティ開発区域を中心とした約630ha） ※同範囲内にて、200m圏内に1箇所を目安に乗降場所を約40箇所設置。		
車 両	運転手除く6人乗り×2台		
運 賃	大人／300円 小学生／150円 未就学児／大人1人につき1人まで無料 ※最初の1週間（1月18日～24日）は運賃無料。		
支払方法	現金もしくはクレジットカード（降車時支払い）		
そ の 他	・専用アプリ上での会員登録は2020年12月1日(火)より受付開始。 （実証開始前の会員登録者には、事前登録特典として無料乗車券3枚配布） ・同アプリに地区内施設・店舗情報を約20箇所掲載し、送客を促す。		



▲実証サービスロゴ
（乗降場所の目印等で使用）

利用イメージ



▲リアルタイムでのルート設定・配車のイメージ

1 目的地の指定 2 乗車人数・時刻の指定 3 予約完了



▲アプリを介した乗車予約イメージ

■アプリ登録説明会（予定）

実証実験内容や会員登録等について質問や不安のある地域住民等を対象とした「アプリ登録説明会」を開催します。

- ▶日時：2020年12月20日(日) 10:00～、14:00～ 21日(月) 10:00～、14:00～（全4回・各回定員40名）
- ▶会場：美園コミュニティセンター 第1・2集会室
- ▶その他：来場特典として無料乗車券6枚配布

■実施体制

- ▶主催：さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム
- ▶車両運行：(株)つばめタクシー、大宮交通(株) ※埼玉県乗用自動車協会会員
- ▶システム：(株)NTTドコモ「AI運行バス®」
- ▶協力：美園タウンマネジメント協会、みその都市デザイン協議会
- ▶実証実験事務局：(一社)美園タウンマネジメント、さいたま市浦和東部まちづくり事務所



▲実証事業案内ページ
(UDCMi公式サイト内)

- ※本実証事業は、国土交通省「スマートシティモデル事業」に係る実証調査の一環として実施いたします。
- ※道路運送法手続きや新型コロナウイルス感染症流行状況等により、サービス内容等が一部変更となる場合がございます。
- ※その他詳細については、別紙案内チラシもしくはアーバンデザインセンターみその[UDCMi]公式Webサイト内の案内ページ (<https://www.misono-tm.org/udcmi/info/news/9445.html>) をご参照ください。

- さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム**：官民連携によりビッグデータやAI、IoT等の先進技術を活用した事業に取り組むことで、市民サービスの向上と持続可能なまちづくりの実現を図ることを目的に、2020年1月に設立（会長：(一社)美園タウンマネジメント/事務局：さいたま市）。国土交通省「スマートシティモデル事業」に係る取組を軸に、さいたま市大宮・さいたま新都心地区および美園地区をモデル地区としてスマートシティ施策の推進に取り組んでいる（14団体加盟：2020年12月時点）。特に美園地区では、商業・業務機能の集積する大宮・さいたま新都心地区とは対比的に、鉄道駅を拠点に住居系土地利用の進展する市街地のモデルケースとして、施策検討・試行検証を推進している。
 - 美園タウンマネジメント協会**：さいたま市美園地区の加速度的な成長・発展を推し進めるため、2015年8月に設立（会長：西宏章慶應義塾大学教授/事務局：(一社)美園タウンマネジメント）。本地区のまちづくり情報発信・活動連携拠点施設「アーバンデザインセンターみその」（略称：UDCMi）を拠点に、“公民+学”の各主体が業界の枠を超えて連携し（43団体：2020年12月時点）、最先端のICT・IoT技術や大学・民間企業の知見を生かした先進的な総合生活支援サービス等の創出を図り、「スマートシティさいたまモデル」の構築・発信を目指している。
 - みその都市デザイン協議会**：さいたま市美園地区の個性と魅力ある都市空間・都市環境の実現に向けて2016年3月に設立（会長：久保田尚埼玉大学大学院教授/事務局：(一社)美園タウンマネジメント・さいたま市浦和東部まちづくり事務所）。地元組織・行政・立地企業・大学など“公民+学”の各主体が参画し（17団体：2020年12月時点）、UDCMiを協働・発信の場として、スタジアムアクセス環境改善や公共空間の高質化・利活用、街並み誘導など主にまちづくりに係るハード面の検討・協議・調整に取り組む。
- IV 美園プロジェクトチーム構成メンバー**：イオンリテール(株)、浦和レッドダイヤモンド(株)、埼玉スタジアム2002公園管理事務所、埼玉高速鉄道(株)、国際興業(株)、(株)つばめタクシー、大宮交通(株)、(株)NTTドコモ、(一社)美園タウンマネジメント、さいたま市、(一財)計量計画研究所、埼玉大学（アドバイザー）、国土交通省埼玉運輸支局（オブザーバー）、埼玉県警察浦和東警察署（オブザーバー）

《この件についてのお問い合わせ先》

一般社団法人美園タウンマネジメント（担当：岡本）

Phone: 048-812-0301 E-mail: info@misono-tm.org